

## 令和4年川南町教育委員会第10回定例会会議録

- 1 日 時 令和4年10月21日（金）午前9時00分～午前10時20分
- 2 会 場 川南町生涯学習センター
- 3 出席者 坂本幹夫教育長、川添健一教育長職務代理者、富山美津子委員  
本多京子委員、椎木祐司委員
- 4 欠席委員
- 5 関係職員 山本博課長、平部至識教育対策監、橋口実課長補佐、
- 6 議 事

### ○教育長

ただ今から令和4年川南町教育委員会第10回定例会を開会いたします。これから本日の会議を開きます。本日の議事日程についてお諮りいたします。お手元に配付のとおり、議事を進めてよろしいでしょうか。

〔「はい」と言う声あり〕

それでは日程第1「会議録署名委員の指名」を行います。会議録署名委員は、申合せにより椎木祐司委員を指名します。

### ○椎木委員

はい。

### ○教育長

日程第2「前回の会議録の承認について」を議題とします。既に原案を配付しておりますが、会議録に記載した内容に御異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う声あり〕

異議なしと認めます。したがって、原案どおり承認することに決定しました。

### ○教育長

日程第3「報告事項」を議題とします。まず私から行います。1ページを御覧ください。10月の報告事項でございます。1日は総合福祉センターオープニングセレモニーに参加しました。この日、唐瀬原中学校の体育大会が午前中に開催されています。2日には、5校の小学校運動会が午前中開催で行われました。教育委員の皆様にも参加していただきありがとうございました。3日は椎木祐司教育委員の任命式が行われました。4日は行政経営会議、第4回のロードレース大会実行委員会が行われています。6日は町校長会と社会教育委員の第1回会議に参加しました。8日には国光原中学校の文化祭が行われました。12日は、山本小学校の支援訪問ということで参加していただきありがとうございました。13日は、本町で東児湯の校長会がありましたので参加しました。16日には、今回で最後となる第36回ザ・フェスティバル・イン・トロントロンが開催されました。日中は天候もよく多くの人でにぎわっていましたが、夜は残念ながら雨が降ってしまいました。しかし、とても素晴らしいイベントだったと思います。17日は運動部活動の地域移行に関する検討会を開催し、両中学校の校長にも参加していただき、いろいろな要望を聞きながら協議を行いました。昨日、唐瀬原中学校の文化祭が

午前中開催で行われました。生徒は一生懸命に取り組んでいました。本日は、時間を30分早めて定例会を行い、10時30分から総合教育会議を行います。午後は、福祉課主催の子ども子育て会議がありますので参加してきます。明日は、妻高校が100周年記念式典を行うということですので、町長の代理として参加してまいります。23日は軽トラ市。26日は教育事務所を呼んでの川南小学校支援訪問となります。27日が第5回ロードレース大会実行委員会ということで、これが最後の実行委員会になるのではないかと思います。28日は令和4年度県市町村教育委員会連合会研究大会が計画されています。30日は社会福祉協議会の採用試験に面接官として参加します。31日は国光原中学校区の小、中学校3校が集まって小中連携研究大会が開催されます。11月の予定です。1日に臨時議会が行われます。そのため行政経営会議は2日となります。4日は町校長会。9日は通山小学校視察訪問です。これが最後の訪問となりますので御参加をよろしくお願ひします。11日は、次年度の教職員の人事異動に関するヒアリングを行います。12日は宗麟原供養祭に三役で参加する予定となっています。13日はロードレース大会 in かわみなみの開催です。537名が参加予定となっています。午後からは、ライオンズクラブの55周年式典に参加します。14日は町教頭会。15日は、第1回目の川南町教育支援委員会。20日は、役場二次試験に面接官として参加します。22日は町内小学6年生の陸上記録会が川南小学校で行われます。25日が教育委員会定例会、その後に学校経営説明会の意見交換会を行います。28日が教育事務所と町教委、校長も含めての人事異動に関するヒアリングが行われます。

私からは以上です。次に課長お願ひします。

#### ○課長

2ページをお願ひします。

1番目は、就学時健康診断についてです。10月12日（水）から14日（金）の3日間、農村改善センターで行いました。対象の児童は112名でした。

2番目は、ロードレース大会 in かわみなみについてです。11月13日（日）に運動公園を中心に開催します。参加者は、ウォーキングの部が130人、ロードレースの部が407人で合計537人になります。

3番目は、陸上自衛隊第8音楽隊演奏会についてです。11月20日（日）14時からサンA川南文化ホールで行われます。

私からは以上です。

#### ○教育長

次に、教育対策監お願ひします。

#### ○対策監

10月3日現在、本町の児童生徒数は合計1241名です。児童生徒の生命に係る事故や問題等については、特に挙がってきておりません。

フロンティアルームですが、そこには、唐瀬原中の生徒が1名としておりますが、現在、唐瀬原中の生徒が2名、国光原中の生徒が1名、川南小の児童が1名の4名が通室しております。

次に教職員の状況についてですが、9月に自転車に乗っている高校生との接触事故が1件ございました。交通違反の報告は、挙がってきておりません。今後も、引き続き、

校長会や教頭会の折に、交通安全とともに交通ルールを遵守するよう職員に対して指導をお願いしていきたいと考えております。

これまでの行事ですが、そこに載せてあるとおりでございます。

今後の行事ですが、この後1階の会議室で総合教育会議が行われますので、皆様の出席をお願いいたします。25日に唐瀬原中のICT活用推進モデル校第2回学校訪問、26日に川南小学校支援訪問、11月9日に通山小学校視察訪問、11日に令和5年4月1日教職員人事異動ヒアリング、16日に唐瀬原中学校区小中連携研究会、22日に川南小学校の運動場で町小学校陸上記録会、ここには載せておりませんが、25日の午後2時半から川南の教育に係る意見交換会を1階会議室で行います。委員の皆様には既に依頼文書をお渡ししております。皆様の出席をお願いいたします。

その他でございます。

9月に実施した「令和4年度ふるさと川南の教育に関する調査」の集計結果がまとまりました。概要について簡単に説明しますので、別紙資料をご覧ください。

資料27ページからが、まとめと考察となっております。29ページの考察から傾向について報告させていただきます。

今回の調査項目では、全体的に横ばい又は下降傾向にあるものが多く見られました。これは、昨年度に引き続き、全国的なコロナウイルス感染症拡大により、本町においても学校内外において新型コロナウイルス感染症対策として、人との交流を制限したり、教育活動の規模を縮小して実施したりしてきたことが影響しているのではないかと考えられます。

今回の調査結果を見てみますと、各学校において、第2次川南町教育振興基本計画に基づいた取組が学校規模や地域の実態等に応じて、意図的・計画的に実施されており、各学校の特色ある教育活動が展開されています。特に、本町の喫緊の課題である「学力向上」に関しましては、本年度から各学校においてリーディングスキルテストの結果を生かした読解力の向上に宮崎大学と連携を図りながら取り組んでおります。また、GIGAスクール構想に基づき、町内の全児童生徒にタブレット端末が貸与されたこともあり、ICT機器を授業や学習活動で活用する場面が確実に増えてきています。

今後は、各種学力調査等の分析結果、とりわけリーディングスキルテストの分析結果に基づく読解力の向上に資する授業改善を図っていくとともに、タブレット端末を授業のねらいを達成させるための手段として、タブレット端末のよさを生かした授業づくりが展開されていくよう次年度に向けて啓発していきたいと考えております。

次に、児童生徒の結果を見てみますと、昨年度に引き続き、小、中学生ともに意識の高まりに落ち込みが見られる項目が多かったです。その中でも、「家族や地域の人にあいさつをしている」や、「困っている人を助けたい、人に親切にしたいと考えている」「障がいの有無にかかわらず、一緒に行動することが大切だと思う」という道徳性に関する項目は、高い傾向が続いています。この道徳性の高さは、学校と家庭と地域が三位一体となって育ててきた成果だと考えられます。また、昨年度小中学生の課題として挙げていた「自分にはよいところがある」という自己肯定感に関する項目は、小中学生ともに伸びが見られています。これは各学校において子どもたちのよさを認め、褒めて伸ばす教育が展開されているからではないかと考えられます。

一方、課題を小学生と中学生で分けて見てみますと、小学生については、「将来の夢や目標をもって、仕事や生き方について考えている」や「将来、就きたい職業が決まっている」というキャリア形成に関する項目について肯定的な回答の割合が年々低くなってきています。このことから、総合的な学習の時間等を通して、小学校におけるキャリア教育の充実を図っていく必要があると考えます。中学生については、「読書が好きである」という割合が小学校に比べて低いことから、学校生活において本に親しむ機会を確保するとともに、読書の楽しさが実感できるような工夫を講じていく必要があると思います。

第2次川南町教育振興基本計画の策定に伴い、新たに追加した「授業理解」、つまり授業が分かるかどうかの項目において、肯定的な回答が小学生は93%、中学生は84%でともによい傾向にあります。このことが全国学力学習状況調査等の結果につながるよう、各学校において主体的・対話的な深い学びのポイントや、県が示している授業改善の4つのポイント、さらに読解力の向上を意識した授業づくりに取り組んでいただけるよう支援していきたいと思っております。

また、小中学生問わず、新聞を読んでいる割合が低い現状がありますので、町内全ての学級に配付している「宮日子ども新聞」を活用することにより、新聞に触れる機会を確保するよう校長会や教頭会で依頼しようと考えております。

令和5年度のふるさと川南の教育につきましては、今回のアンケート調査結果で得られた課題解決に向けた取組を考え、可能な限り取り入れていきたいと考えております。

令和5年度年間行事についてですが、11月中に教育課の令和5年度の行事を入力し、12月には各学校にそのデータを送付する予定としております。そのデータに各学校の学校行事を入力していただいて、返信してもらうことで、令和5年度の年間行事を確定していきたいと考えております。

以上で、私の説明を終わります。

#### ○教育長

これまでの報告事項に対する質疑はありませんか。

#### ○川添委員

17日に行われた運動部活動地域移行に関する検討会のメンバーはどのような方になりますか。

#### ○教育長

メンバーにつきましては、教育長、課長、教育対策監、課長補佐、生涯学習係長、学校教育係長、文化スポーツ係長、地域学校協働活動推進委員、両中学校校長です。

その他質疑はありませんか。

#### ○椎木委員

教育長の行事予定の中で、22日に妻高校の100年記念式典に参加するとありましたが、11月19日には、高鍋高校も100周年記念式典を計画しています。招待を受けていませんか。

#### ○教育長

恐らくですが、町長に参加依頼が届いていると思います。妻高校につきましても、町長に案内がありましたが、別件が入っていたため、私が代理で参加することになりました。

その他質疑はありませんか。

〔「なし」と言う声あり〕

他に質疑がなければ報告事項を終わります。日程第4、報告第1号「専決処分の報告及び承認を求めるについて」を議題とします。本件について、提案理由の説明を求めます。

○課長

報告第1号「専決処分の報告及び承認を求めるについて」御説明いたします。

報告第1号につきましては、教育委員会の会議を招集する時間的余裕がなく専決処分しました専決第1号「令和4年度川南町学校運営協議会委員の解嘱について」及び専決第2号「令和4年度川南町学校運営協議会委員の委嘱について」、教育委員会事務委任規則第4条第2項の規定により教育委員会の会議に報告し、その承認を求めるものでございます。

専決第1号は、令和4年度川南町学校運営協議会委員の解嘱についてです。当該委員の椎木祐司氏を川南町学校運営協議会委員の委嘱を解くものです。

専決第2号は、令和4年度川南町学校運営協議会委員の委嘱についてです。当該委員に梶本英之氏を川南町学校運営協議会委員に委嘱するものです。

委嘱の期間は、令和4年10月1日から令和5年3月31日までです。

よろしく御審議の上、御承認いただきますようお願いいたします。

○教育長

以上で提案理由の説明を終わります。これから質疑を行います。質疑はありませんか。

○川添委員

梶本氏は、町の職員でしたかね。

○課長

社会福祉協議会の職員です。

○教育長

その他質疑はありませんか。

〔「なし」と言う声あり〕

これで質疑を終わります。これから報告第1号について、採決します。お諮りします。本案は、原案のとおり承認することに、賛成の委員は挙手願います。

〔全員が挙手〕

全員賛成と認めます。したがって、報告第1号「専決処分の報告及び承認を求めるについて」は、原案のとおり、承認されました。日程第5、報告第2号「専決処分の報告及び承認を求めるについて」を議題とします。本件について、提案理由の説明を求めます。

○課長

報告第2号「専決処分の報告及び承認を求めるについて」御説明いたします。

報告第2号につきましては、教育委員会の会議を招集する時間的余裕がなく専決処分しました専決第3号「川南町新中学校設立推進委員会委員の解嘱について」及び専決第4号「川南町新中学校設立推進委員会委員の委嘱について」、教育委員会事務委任規則第

4条第2項の規定により教育委員会の会議に報告し、その承認を求めるものでございます。

専決第3号は、令和4年度川南町新中学校設立推進委員会委員の解嘱についてです。当該委員の椎木祐司氏を川南町新中学校設立推進委員会委員の委嘱を解くものです。専決第4号は、令和4年度川南町新中学校設立推進委員会委員の委嘱についてです。当該委員に西府信一郎氏を川南町新中学校設立推進委員会委員に委嘱するものです。委員の期間は、令和4年10月1日から令和6年6月23日までです。よろしく御審議の上、御承認いただきますようお願いいたします。以上です。

よろしく御審議の上、御承認いただきますようお願いいたします。

○教育長

以上で提案理由の説明を終わります。これから質疑を行います。質疑はありますか。

○本多委員

西府氏はPTAの方と思いますが、どちらに所属されていますか。

○課長

国光原中学校のPTA副会長をされています。

○教育長

その他質疑はありますか。

〔「なし」と言う声あり〕

これで質疑を終わります。これから報告第2号について、採決します。お諮りします。本案は、原案のとおり承認することに、賛成の委員は挙手願います。

〔全員が挙手〕

全員賛成と認めます。したがって、報告第2号「専決処分の報告及び承認を求めるについて」は、原案のとおり、承認されました。日程第6、「その他」に入ります。まず事務局から連絡等があればお願いします。

○課長

特になし。

○教育長

教育委員の皆様から、何かございませんか。

〔「なし」と言う声あり〕

他になければ次回定例会の日程についてお諮りします。次回は、11月25日としてよろしいですか。

〔「異議なし」と言う声あり〕

御異議なしということで、次回定例会の日程につきましては、11月25日金曜日13時から行うことに決定しました。これで、令和4年第10回川南町教育委員会定例会を閉会します。お疲れ様でした。

上記は、川南町教育委員会のでん末に相違ないことを証明する。

令和4年11月25日

川南町教育委員会 教育長 坂 武 幹 夫

川南町教育委員会 教育委員 榎 木 祐 司